

令和5年度 応神中学校 総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指数と活動計画	評価		
1 豊かな心の育成	①人権教育の推進 ②自尊感情を高める教育活動の推進 ③特別支援教育の充実	評価指標 生徒アンケート ①「互いの人権を大切にし、仲間を大切に生活している。」 ②「自分にはいいところがある。」 教職員アンケート ③教職員は特別支援教育について正しい理解と見識をもち、支援の必要な生徒に応じた手立てや支援を工夫している。	評価指数の達成度 ① A 96% ② B 82% ③ A 100%	○生徒の主体的な活動を次年度もぜひ実践してほしい。 ○学校にきづらい生徒も、学校行事や、キャリア教育を進めることで、いい方向に進んでほしい。	○教師が補佐役となり、今以上に生徒主導での取組や活動を増やす。また、校外で人と関わる活動も取り入れていく。
		活動計画 ①人権研修を行い、いじめや差別解消に向かって取り組んでいく意欲と実践力を全教職員で育む。 ②委員会活動や学級活動、行事などで、生徒が積極的に取り組み、充実できるような場を設定する。 ③普段から支援の必要な生徒についての情報交換をし、指導の手立てについて共通理解を深める。	活動計画の実施状況 ①人権の研究授業を行い、授業研究会を実施して授業の進め方や発問について研究した。 ②各行事、活動においてそれぞれに役割を与えるよう工夫し、生徒主導を進めるようにした。 ③生徒の情報を共有し、テストへのふりがなづけや板書のチョークの色の共通理解を図った。		
2 たくましく生きる力の育成	①健やかな体の育成 ②心によりそう生徒指導の徹底 ③生徒主体の活動の活性化	評価指標 保護者アンケート ①学校は生徒が快適に生活したり学習したりできるような環境づくりに取り組んでいる。 生徒アンケート ②「先生は、あなたのことをよく理解してくれる。」 ③「目標をもって学校生活を過ごしている。」	評価指数の達成度 ① A 91% ② A 92% ③ B 78%	○学校にきづらい生徒も、学校行事や、キャリア教育を進めることで、いい方向に進んでほしい。	○職業体験や出前授業等のキャリア教育を充実させ、目標をもち、生き生きと学校生活を送ることができるよう生徒の育成を目指す。 ○体験活動を計画的に取り入れ、幅広くコミュニケーションがとれ、TPOに応じて柔軟に行動できる生徒の育成を図る。
		活動計画 ①奉仕作業を行い、運動場や側溝掃除を行う。校舎内外の環境づくりをする。 ②生徒指導委員会で気になる生徒等について共通理解し、全教職員で支援を行う。 ③視野を広くもてるように、計画的、継続的にキャリア教育を進める。	活動計画の実施状況 ①保護者と生徒に参加を呼びかけ、奉仕作業を行った。 ②教員が一人一人への細やかな声かけや会話を心がける。 ③講師や出前授業などを積極的に招聘したり、学活で職業調べをしたりした。		
3 確かな学力の育成	①「わかる授業」の創造 ②家庭学習の支援 ③学習規律の確立	評価指標 生徒アンケート ①先生は、生徒が意欲をもって学習できるよう工夫し、わかりやすく授業を行っている。 ②夏季休業中やテスト前等に1回程度勉強会を開く。 ③-1「授業の準備物などを忘れることなく、用意ができています。」 ③-2「真剣に授業に取り組んでいる。」	評価指数の達成度 ① A 100% ② A 夏季・冬季・テスト前に実施 ③-1 B 82% ③-2 A 94%	○生徒が主体的に判断し、実践できるような支援を教員がしていく。またマチコミ等でこまめに連絡をし、保護者との共通理解を深める。	○教職員がタブレットを効果的に利用できるような、さらに研修を進め、授業力を高める。
		活動計画 ①タブレット研修を実施し、授業でのタブレットの利活用について、教職員の実践を共有する。 ②希望を募り、勉強会を開催し、わからない問題を個別で教える機会を設ける。 ③職朝や生徒指導委員会で、学習の様子などについて共通理解を図る。	活動計画の実施状況 ①タブレット研修を実施し、タブレットの利活用について研究しながら、授業で取り組んだ。 ②夏季休業中や冬季休業中、テスト前の放課後に英語、数学等で勉強会を行った。 ③全教職員で各授業で忘れ物調べをしたり、遅刻を確認したりする。		
4 保護者・地域との連携	①積極的な情報発信 ②「応神学園」としての連携推進	評価指標 保護者アンケート ①-1「学校は、教育目標や教育方針を学校だより等を通じてわかりやすく伝えている。」 ①-2「学校は、家庭への連絡や保護者との意思疎通を適切に行っている。」 ②地域の幼小中高等学校や地域の方々と適宜連絡を取り合い、学期に1回以上情報交換をする。	評価指数の達成度 ①-1 A 93% ①-2 A 92% ② A 毎学期1回実施	○保幼小中で引き続き連携した取組ができるとよい。困ったときは相談してほしい。	
		活動計画 ①ホームページや学校だより、マチコミなどで、教育活動の様子や学校からの連絡等を積極的に発信する。 ②教育活動や学校行事の際には地域や保護者などに呼びかけ、学校への案内をする。	活動計画の実施状況 ①毎日ホームページを更新し、修学旅行や遠足もリアルタイムで発信した。また必要なことはマチコミでも連絡をした。 ②学校行事は案内を出し、学校運営協議会でも案内し、来校を呼びかけた。		

「評定」の基準 A：十分達成できた B：おおむね達成できた C：達成できなかった